

令和6年度 一般会計中間報告詳細③

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

収入の部

2024. 11. 11

科目	摘要	予算額	収入額	差引	備考
会費	1校 15,000円	3,390,000	3/31 3,390,000	0	R6.06.18(226校)と昨年度同数見込み R6.03.31(226校中226校) 委員の場合
日本肢体不自由児協会	助成	100,000	申請中 100,000	0	
全国高等学校長協会	助成	30,000	申請中 30,000	0	
雑収入	利息等	18	265	△ 247	
特別会計から			0	0	
繰越金		2,096,723	2,096,723	0	
合計		5,616,741	5,616,988	(247)	

支出の部

科目	摘要	予算金額	支出額	差引	備考	振込手数料
1 研究大会費	全肢研協議会	800,000	7/30日 795,700	4,300	第70回 熊本大会	440
	北海道地区	100,000	10月9日 100,000	0		440
	東北地区	100,000	9月26日 100,000	0		440
	関東甲越地区	350,000	8月7日 350,000	0		440
	中部地区	250,000	7月24日 250,000	0		440
	近畿地区	300,000	7月30日 300,000	0		440
	中国四国地区	200,000	7月12日 200,000	0		100
	九州地区	250,000	0	250,000	R4 会場予約代として204,300円支出	0
	全肢P・長研究大会	250,000	9月9日 250,000	0	第67回 石川大会	440
2 分担金	全特長事務運営費	226,000	11月6日 225,000	1,000	1校1000円×225校(11/6の時点)会員数再度確認	440
	日本障害者リハビリ協会	30,000	7月12日 30,000	0		220
	日肢協美術展	40,000	7月30日 40,000	0		220
3 大会運営費	ミラコン運営費	200,000	7月12日 200,000	0		100
4 大会参加助成	ポッチャ選抜甲子園	550,000	570,000	(20,000)	再度継続事業としR1より5年目 7/22 鳥取県立若生養護学校 70,000円(440円) 7/26 香川県立高松支援学校 70,000円(440円) 8/30 中部地区特別支援学校肢体不自由教育校長会 福井県立福井特別支援学校 富山県立富山特別支援学校 豊田県立豊田特別支援学校 80,000円(440円) 11/08 福岡県立直方特別支援学校 70,000円(440円) 11/08 長崎県立諫早特別支援学校 70,000円(440円) 11/11 長崎県立佐賀特別支援学校 70,000円(440円)	2640
	5 事務局費	会長活動費	200,000	12月5日 40,093 4月10日	159,907	名刺、交通費、手土産(1件2200円以 内)事務費、他 吊電と花輪又は生花
5 事務局費	事務局長活動費	600,000	7月12日 23,903	288,896		0
			7月30日 14,759			
			11月8日 272,442			
	計 311,104	0	440			
	講師謝礼	30,000	0	30,000	研修会等	0
R5 特別会計からの借入金返済		800,000			0	
振込手数料	8,500	7,240	1,260		0	
6 予備費	予備費	1,132,241	241,400	890,841	ミラコン運営費不足分補填	0
合計		5,616,741	4,810,537	806,204		7,240

収入-支出より 806,451

通帳の記帳より 11月11日 1,423,291

-616,840

令和6年 月 日

全国特別支援学校肢体不自由教育会 会長 島添 聡

事務局 会計担当 門脇 伸也

監査報告

監査の結果、適正であることを認めます。

令和6年 月 日

全国特別支援学校肢体不自由教育会 会計監査 小田切 一博

全国特別支援学校肢体不自由教育会 会計監査 西垣 昌欣

一般会計 会費15,000円 × 会員数 (226校) = 3,390,000円を運用する。

※会員数は年度により異なることもある。

※前年度の繰越金を上乗せする。

※前年度繰越金は、年度当初の運転資金程度があるとよい。

課題 192校/226校が納入。※あと34校の会費 (51万円) 納入待ちです。

※令和5年度 特別会計より借りた80万円を戻します。シート③を参考

特別会計 ジアース教育新社の著書 (例) 授業力向上シリーズ等の印税を収入とする。

※印税の収入金額は、年度により異なり16~32万円の幅がある。

確認 ※年度当初の運転資金不足の場合は、特別会計より借り受け運用します

一般会計支出について (今後へ)

① 総会資料を外注し、見やすい・保管しやすい・使いやすいものとして製本し配布

② Zoom等の通信手段の活用持続 (多数が会員が参加しやすい機会を維持)

※①② 年度当初に必要な経費は確保する。

③ ポッチャ甲子園予算

※一般会計余剰金の有効活用から端を発してたものだが、余剰金は解消に向かっている。

※ 令和7年度は令和年度並みの予算とし、継続する。

確認 ※ 令和7年度の申請がまだの学校はご連絡ください。

課題 ※ 令和8年度以降の継続の有無について、検討する。

④ ミラコン運営費

※ 通信手段の外注化により質は向上した。業者への支払い高額となる。

※ 予算増額の金額は、収支決算を参考とし具体的な検討が必要となる。

課題 ※ 本年度の運営資金不足は予備費より支出し、次年度の予算はのちに検討する。

【収入】 全肢長より20万円、全肢頭より10万円、日肢協より20万円、全肢P連より10万円

【支出】 4ブロックへ4.5万円で18万円、通信業者からの申請 (?)、予備費11万円